



令和2年8月13日

## 多治見高校トピックス 多治魂セミナーNo.11 ～物理学×情報学の最先端で働く人に聞く～

第11回の多治魂セミナーは令和2年7月21日(火)の放課後に、TRI-AD(トヨタ・リサーチ・インスティテュート・アドバンスド・デベロップメント株式会社)の米田感人さんをお招きし、講演会をオンラインで開催しました。多治見北高校の生徒10名、恵那高校の生徒10名、多治見高校の生徒13名が参加しました。

講演会では、現在の自動運転技術開発の現状と、TRI-ADが取り組んでいる事業についてのお話をいただきました。また、米田さんがどのように進学先を決め、大学・大学院生活から何を学んだかもお話しいただきました。



左：米田さん、右：講演会で話に出た Woven City

(<https://global.toyota.jp/newsroom/corporate/31170943.html>)

### <生徒の感想>

・米田さんの講演を聞いて、何事も楽しくするための工夫をすることが大事だと知りました。私自身、国際的な会社で勤めたいと考えているので日本語だけでなく英語でも感情や思っていることを伝えるすべを持つべきだと思いました。米田さんのお仕事は自動運転をする車を主流にするのが目的でなく、自動運転は安全な未来のための手段だということが印象に残りました。

・講演を聞いて、少しでも興味があることは自分から情報収集したいと思いました。将来のことはなかなか考えられていないので、色々な体験をして可能性を広げられたらいいなと思いました。英語を話せることは大事だけれど、それ以外にその人の人間性の方が重要という話がとても印象に残っています。

・学校の授業を学んで「常識を疑えるようになる」ような捉え方をしたことがなく、自分はまだまだ考え方が狭いなと思いました。固まった見方だけでなく、いろいろな角度から物事を見られるようにしたい。自動運転におけるメリットばかりに目がいて

しまうけれど、まだデメリットといえる部分はあって、しかし着々と開発が進んでいることも知れたので早く乗ってみたいなと思いました。

• 今回のお話を聞いて、今までざっくりと自動運転とイメージしていたものが具体的な最先端の技術のお話が聞けて、とても面白かったし、将来実現するかもしれない世界が想像出来たりして楽しかったです。

普段このような話を聞くことはほとんどできないので、とても貴重な体験でした。さらに、車のシステムを作る上で考えている“信念”や“やろうとしていること”のお話をさせていただいて、さらにシステム系の話に興味をもつことができました。今日の体験を今後の進路選択などに生かしていきたいです。

たじこん  
**多治魂セミナー**とは…多治見高校では、生徒の皆さんに学ぶ面白さを体感してもらう

ために、大学などの研究機関や企業で「熱い思い」をもって活躍されている方を招いて講演会をしていただいています。このセミナーは、多治見高校生以外にも近隣の学校からも参加でき、また、質疑応答の時間を長めに取って、講演者と生徒の皆さんが対話・議論する時間がたっぷりある点が特徴です。

担当：佐賀達矢